

ながい
長井
ふるさとガイド

小原



守柄



加鹿野



ながいガイドマップ

Guide Map

わたしたちのふるさとながいは
たくさんの「たからもの」
があります。わたしたちもそ
の「たからもの」をたくさん
見つけて未来へ引き継いでい
きましょう。

- 凡 例
- 黄色の道…広い道
(国・県道など)
 - 白色の道…少し狭い道
(県・町道など)
 - 灰色の道…細い道
(林道・登山道など)



ながいガイドマップ

Guide Map

守柄・加鹿野・三谷・大谷

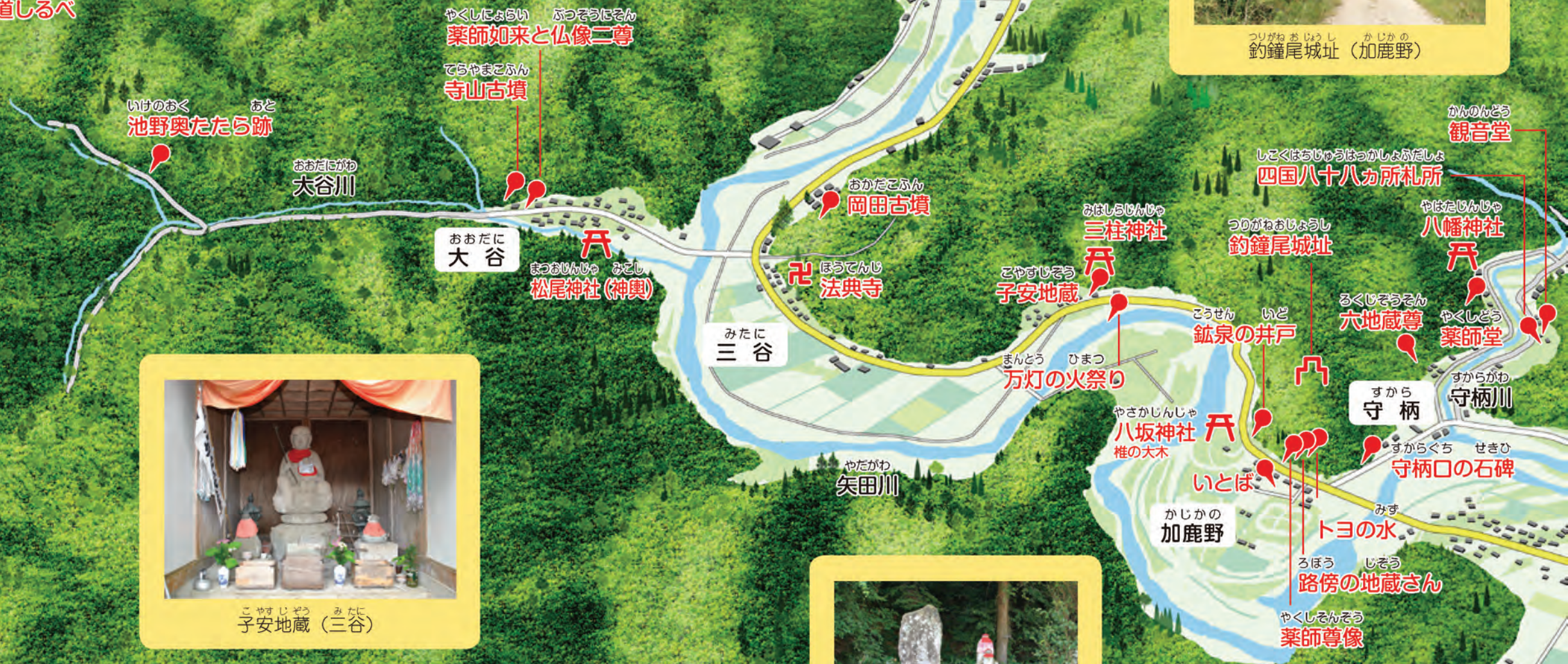
みかわさん
三川山への道しるべ



まつ お じんじや おおだに
松尾神社 (大谷)



つりがね お じょうし かじかの
釣鐘尾城址 (加鹿野)



こやすじそふ みたに
子安地藏 (三谷)



すからくち せきひ すから
守柄口の石碑 (守柄)

ながいガイドマップ

Guide Map

大野・小原



おおのじょうし おおの
大野城址（大野）



へんじょうじ ほうきょういんとう
遍照寺の宝篋印塔
（町指定文化財）（小原）

かまたりじんじや
鎌足神社

まんじはいしあと
萬寺廃寺跡

まんじいけ
萬寺池

こばら
小原

くらはしじんじや
𪛗 棕橋神社

へんじょうじ
𪛗 遍照寺
本堂（大悲殿）
大師堂
鐘楼堂
宝篋印塔

みちび じぞう
導き地蔵

こばらがわ
小原川

いちよう たいぼく
みはしらじんじや
三柱神社 𪛗 銀杏の大木

おおのじょうし
大野城址

どのさま おしあら いし
殿様の足洗い石

おおの
大野

あさい じぞう
浅井の地蔵
たじまるくじゅうろくじぞうそんだいななばふだしよ
（但馬六十六地蔵尊第7番札所）



あさい じぞう おおの
浅井の地蔵（大野）

矢田川レインボー

やだがわ
矢田川

長井小学校・幼稚園
長井地区公民館

ながいガイドマップ Guide Map

中野・藤・八原



やくしどう ふじ
薬師堂 (藤)



じぞう やはら
お地蔵さん (八原)



たいぼく せき ひ なかの
タモの大木と石碑 (中野)

やまなし
山梨
大カツラ

アセビ川

やだがわ
矢田川

幸谷川
こうたにがわ

いえ おくたにがわ
家の奥谷川

やはら
八原

なかの
中野

ふじ
藤

いなりじんじゃ
稲荷神社

みはしらじんじゃ
三柱神社
みくろじ

みなみじゅういせき
南住遺跡

じぞう
お地蔵さん

みはしらじんじゃ
三柱神社

やくしどう
薬師堂
ふじいせき
藤遺跡

たいぼく
タモの大木

みはしらじんじゃ
三柱神社
むらなか古墳

じぞうそん
地蔵尊

こふん
ムラナカ古墳

いせき
ユマチ遺跡

こうたにいせき
幸谷遺跡

さてこ もり
小手子の森

もりやま あと
森山たたら跡

ふるさとを歌う 長井郷土歌

作詞 原 孝
作曲 弘田 龍太郎

私たちのふるさと長井地区には個性豊かな村々を歌った長井郷土歌があります。この歌が作られた頃を想像しながら歌われた場所をめぐり、歌い継いでいきましょう。



1 さても楽しき わが郷土は
矢田の川辺に うち沿いて
景色はうつる 山川の
四季の眺めの うるわしさ



2 守柄の奥に そびえたる
五輪の山の 朝ぼらけ
ふもとは霞 たなびきて
高嶺は燃ゆる 雲の色



3 八坂の森を うちめぐる
清き洑瀬に きらめきて
鮎の香高き 加鹿野を
過ぐればそこは 三谷なり



4 右てに仰ぐ 宮山の
高き梢に 陽がさして
宮居の奥の 静けさよ
御典かしこき 法典寺



5 大谷川の 山深く
初夏そよぐ 青風
続く山路の はるばると
越ゆればやがて 三川山



6 玉芝生うる 大野原
川辺へだてて ほど近く
阿瀬の頂 夕焼けて
面影しのぶ 城の跡



7 手向けのぬさと 棕橋の
神社の庭の 老杉の色
額づくほどに 日は落ちて
鐘の音淋し 遍照寺



8 吹く風薫る 水の上
阿瀬野の川の さらさと
河鹿の声の 細りゆく
中野の里は 遠からず



9 川の彼方に 見はるかす
木の間隠れの 藤の里
四月八日の ご縁日
お詣り賑わう 薬師尊



10 八原の奥の 森陰は
貞女小手子の 祠あり
今も伝うる 世語りは
操の鑑 とこしえに



11 さても楽しき わが郷土よ
神の守りの はにやすに
生れし幸を あじわいて
教えの道に 進みなむ

ふるさと 矢田川マップ

長井地区は香美町^{ちゅうしん なが}の中心を流れる矢田川^{ちゅうりゅういき}の中流域にあたります。長い長い間、私たちの祖先^{そ せん}は矢田川^{とも す}と共に過ごし、遊び、学び、親しんできました。私たちも矢田川をもっと知り、多くのことを学びましょう。



おおのいせき
大野堰



べん てん 淵
弁天淵
今は流れが変わって水はありませんが、昔は深い淵がありました。



つばくち
椿口



かめい せきふち
亀居堰淵

ていぼう あらわ
……堤防を表しています

長井の歴史

貞女小手子の物語

八原地区上辺に、小手子の森があります。ここは貞観(859~877)の頃、日置部小手子が居住していたと伝えられています。「女性の鑑」と称賛された人で、1870年出石藩女学校の祭神に加えられました。



小手子の森

長井の山城 大野城、釣鐘尾城

釣鐘尾城

加鹿野の釣鐘尾城は、標高60メートルの山頂に3,000㎡の平坦地がある町内最大規模の城址です。平坦地は2段になっており、1段高い場所には釣鐘がおかれていたといわれています。香住の志馬比城、一日市の塔の尾城と一直線にならんでおり互いに勢力をあらそっていました。



大野城址のふもと

大野城

大野にある大野城は、標高70メートルの頂に1,000㎡の平坦地があり、周囲を堀切、曲輪で防御しています。山麓には風呂屋の谷、殿屋敷、蒸殿などの地名が残っており、城主の住まいがあったことが想像できます。

長井の鉱山

大谷、八原、守柄の山の中でずっしりと重い鉄のような塊が落ちていることがあります。これは「鉄滓」と呼ばれるもので、鉄を作る際にできた不純物の塊です。「鉄滓」が落ちているということは、この近くで製鉄をおこなっていたということです。この製鉄を得る方法を「たたら」と呼び、原料の砂鉄を木炭で熱して不純物を取り除く際にできるのがこの「鉄滓」です。



池野奥たたらあと

時代	主な出来事
古代	じいがかま・ばあがかま古墳(守柄)、南住遺跡(八原)、藤遺跡(藤)
中世	大野城(大野)・釣鐘尾城(加鹿野)築城
近世	1603 徳川家康が江戸幕府を開く 守柄・加鹿野・三谷・大谷・大野は豊岡藩、小原・中野・藤・八原・久斗山は出石藩 1678 中野・大野で境界論争 1700年頃 遍照寺(鐘樓堂 本堂 太師堂)建立
近代	1867 明治維新 1874 豊岡県美含郡第三番学区小原小学校開校 1887 兵庫県美含郡第七番区小原簡易小学校と改称 1888 長井村立長井尋常小学校と改称 久斗山村に西長井尋常小学校開校 1895 小学校校舎を大野村浅井に移転 1897 高等小学校併置認可により長井尋常高等小学校と改称 1908 久斗山分離により九カ村となる 1941 長井村立長井国民学校と改称。尋常科を初等科とする、太平洋戦争開戦 1945 太平洋戦争終戦 1947 新村制により長井村立長井小学校と改称、長井村立長井中学校開校 1955 香住町と長井村との町村合併により香住町立長井小学校と改称 1956 長井中学校が香住第一中学校に統合される 1957 校区改変により、守柄・加鹿野地区の児童20名が、香住小学校へ転出する 長井診療所開設 1960 長井診療所廃止 1964 藤地区 薬師橋(鉄骨製つり橋)完成 1969 長井簡易水道供用開始 1976 長井小学校校舎竣工 1979 長井地区公民館建設 1985 藤地区 新薬師橋(コンクリート製)完成 1988 大谷橋を新橋に架け替え 1990 台風19号により大野橋損壊(92年に新橋完成) 1994 広域ごみ処理施設「矢田川レインボー」完成 1995 大谷に町営住宅4戸建設 1997 長井北集合処理施設(下水道)供用開始 1998 長井南集合処理施設(下水道)供用開始 2000 林道 池ヶ平線(小原・浜坂久斗山間)開通 「かすみ・矢田川温泉」営業開始 2005 香住町が村岡町・美方町と合併して香美町となる



藤の旧薬師橋

八原



藤



中野



大野



大谷



三谷



学校名

学年

年 名前

—— 2010 年 11 月発行 ——

編集：長井ふるさとカイト編集委員会

発行：香美町教育委員会、学校支援地域本部香美町実行委員会、香美町ふるさと教育推進プロジェクト委員会